

令和6年度 清水中学校校区 小・中連携研修会



日時：令和6年6月17日（月）

14:00～16:30

場所：鹿児島市立大龍小学校

令和6年度 清水中学校区小・中連携研修会（大龍小会場）実施要項

- 1 趣 旨 地域における小学校と中学校が9年間で子どもを育てるといふ視点に立って，相互に連携を図った教育課程編成や学習指導，生徒指導等の在り方についての実践的な研修を行い，児童生徒の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した教育活動を展開するとともに，小・中学校相互の指導方法・内容等について視野を広げ，教師の指導力の向上を図る。
- 2 日 時 令和6年6月17日（月） 14時00分～16時30分
〔受付：13時40分～14時00分〕
- 3 場 所 大龍小学校（各教室）
- 4 対象者 大龍小学校，清水小学校，清水中学校，玉龍中学校の教職員
- 5 日 程

時 間	研 修 内 容 等
13：40～14：00	受付（職員玄関）
14：00～14：45	授業参観（3・4・5・6年及び特別支援学級）
14：45～15：00	移動及び分科会受付（各分科会教室）
15：00～15：55	分科会（55分） (1) 開会のことば (2) 各校職員の紹介 (3) 各学校の現状と課題 (4) 協議・情報交換 (5) まとめ (6) 閉会のことば
15：55～16：00	準備
16：00～16：30	全体会 〔そのまま各分科会教室にてオンラインで行う〕 (1) 開会のことば (2) 各分科会報告 (3) 講評 (4) 会場校校長あいさつ (5) 閉会のことば

6 分科会について

(1) 割り当て

分科会	世話係	記録係	指導助言者	会場
生徒指導部会	(大龍小)	(大龍小)	笠置倫敬 大龍小教頭	5年2組
学習指導部会	(大龍小)	(大龍小)	古市正直 玉龍中教頭	6年2組
特別支援教育部会	(大龍小)	(大龍小)	原口雅也 大龍小校長	3年2組
保健部会	(大龍小)	(大龍小)	原田健太郎 清水小教頭	3年1組

(2) 研修内容（各分科会ごとのテーマ）

分科会	研修内容（各分科会ごとのテーマ）
生徒指導部会	1 いじめ，不登校，問題行動等について 2 校則や風紀面での見直し等を踏まえた小中の連携について
学習指導部会	1 学力向上について 2 非認知能力向上プロジェクト（鹿児島市立学校）への取組について
特別支援教育部会	1 個別の教育支援計画，個別の指導計画の活用等について 2 特別支援学級における授業時数の現状等について
保健部会	1 薬物乱用防止教育について 2 健康課題（視力，歯，運動等）について

令和6年度清水中校区 小中連携研修会

(R6.6.17 於：大龍小学校)

各分科会 協議 まとめ

【生徒指導部会】

1 いじめ，不登校，問題行動について

- ・ 各種のアンケートや学校楽しいーと，体と心の健康観察等を実施し，いじめや不登校，問題行動等の早期発見・早期解決が必要である。
- ・ 近年，スマホやゲームなどで生活リズムを崩し，不登校になる傾向が多い。
- ・ 不登校の対応を全職員で行い，長い目で見る必要がある。
- ・ 全職員で情報共有を行い，チームで支援できるようにする。また，SSTやSOSの出し方などを教育課程に位置付け，未然防止をねらいとした取組を積極的に行う。

2 校則や風紀面での見直し等を踏まえた小中の連携について

- ・ 校則や風紀面では，LGBTQへの対応もしっかり行いながら，子供間，職員間，地域等話し合いを進めていかなければならない。

指導助言

- 生徒指導提要の改定→発達指示的生徒指導・課題未然防止教育
- 人の心は人の心によって育まれる。
- 不登校→ゲーム・スマホは，保護者の協力が必要。
学校の楽しさを感じられる教育が一番大切になる。

【学習指導】

1 学力向上について

- ・ 2校の小学校のスタンダードを参考にする。
(清水小…すえひろがり8，大龍小…大龍スタンダード)
- ・ ICTの活用
各教科での使用と長期休業中の課題(navimaの使用)に使用している。
- ・ 実態に応じてICTの使い方，ルールを作成している。

2 非認知能力向上プロジェクトへの取組について

- ・ 単元自由進度学習は，学力の差が大きくなる懸念がある。たくさんのヒントカードやペアやグループなど共同的な学習活動の工夫が必要である。

指導助言

- 鹿児島県は，主体性や自己肯定感が低い傾向にあるという意識をもって，教科指導や生徒指導を行う必要がある。
自己肯定感を高める方法…ポジティブな自己対話
小さな目標設定
自己成長の確認(他人とは比較しない)

【保健指導】

1 薬物乱用について

- ・ 各学校，薬物乱用教室を行い，薬物乱用防止教育を行っているが，自分事として捉えさせることは，難しい。

2 健康課題（視力，歯，運動）について

- ・ **生活リズム**
ゲーム，インターネット，メディアとの向き合い方を考えさえる必要がある。生活リズムのくずれから，集中力の低下や意欲低下が考えられるが，メディアルール等取り組んでも，形だけで終わってしまっている。
- ・ **体幹が弱い**
けがが多い。姿勢が崩れやすい。もたれかかる。
- ・ 学校保健委員会の参観人数が少ない。講師派遣しにくい現状がある。授業参観や土曜授業等と併用するなど，持続可能な学校保健委員会を作る必要がある。
- ・ 学校の思いを話し，家庭との協力が必要である。

指導助言

- 学校だけの活動だけでなく，保護者や地域を巻き込む必要がある。
- 不登校は，生徒指導と並行して行う。
- 個に応じた対応を考える。世の中の変化に対応していく。
- オーバードーズ，起立性調節障害等は，職員間の共通理解と受診を進める。

【特別支援教育】

1 個別の教育支援計画，個別の指導計画の活用等について

- ・ 個別の教育支援計画を清水小学校の形式に統一する。

2 特別支援学級における授業時数の現状等について

- ・ 学年間，クラス間で時間割を合わせるのが大変。
- ・ 進路について不安を訴える保護者がいる。
→ 清水中学校は，親子見学がある。
→ 高校受験やその先の進路等語る場所を設定していきたい。

指導助言

- 進路について，特別支援学校から情報をもらえやすい。その児童・生徒の一生を見通した会などがある。
- 個別の指導計画は，その児童の変化を赤で修正したり，保護者のメモ書きかかれていたりするなど，よりよい教育を受けられるようになればいい。